

**GRANDINOTE**  
MAGNETOSOLID® AMPLIFIERS

# SHINAI

## USER MANUAL



[ 取扱説明書 ]

# もくじ

---

はじめに.....	3
製品概要	
梱包内容	
ご使用上の諸注意と警告.....	4
接続の前に	
付属電源コードの取扱いについて	
設置について.....	5
リアパネル / 接続 .....	6
フロントパネル.....	7
リモコン.....	8
リモコンの電池装着/安全に関するご注意(リモコン用電池の取扱いについて).....	9
プログラム(ファンクションのカスタマイズ) .....	10
プログラム・メニュー/操作手順.....	10
各入力のボリュームレベルのプリセット.....	11
ディスプレイ消灯.....	11
バランス.....	12
リモコン OFF .....	12
入力端子⇄出力端子 スワップ.....	12
バランス入力端子→アンバランス入力に変更.....	14
主な仕様.....	15
保証.....	15



## はじめに

---

このたびは、GRANDINOTE "SHINAI"をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本取扱説明書には、本機の設置や操作についての重要な情報が含まれています。

本機の優れた機能・性能を存分に発揮させ末長くご愛用いただくため、本説明書を一通りお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

### [ 製品概要 ]

GRANDINOTE "SHINAI"(グランディノート・シナイ)は、“Magnetosolid®”(マグネトソリッド)と称する独自の回路テクノロジーを駆使して設計製造されたプリメインアンプです。“Magnetosolid®”とは、「Magnetic=強磁性体」と、「Solid=ソリッドステート」という二つの言葉の融合を意味し、それは、まさに真空管アンプの如き「出力トランスフォーマー」を搭載した回路でありながら、すべてのデバイスをトランジスターで構成するという、ユニークな構想による全く新しい半導体アンプです。この、“Magnetosolid®”テクノロジーは、固体素子と強磁性体との結合および相互作用に関する長年に亘る GRANDINOTE の研究によって生まれた特殊な高性能トランスの実用化によって実現しました。

それは、真空管アンプの持つ肌障りの良さと半導体アンプの持つ優れたドライバビリティーを両立させ、コヒーレンス特性に優れたニュートラルなトーンバランスの中に、豊かなディテール表現力と、ハーモニクス、スピード感、抑揚感、引き締まったダイナミックレンジを兼ね備えた格別なナチュラルサウンドをもたらします。

GRANDINOTE "SHINAI" は、2つのチャンネルの2つのセクションが完全に独立した、フルデュアルモノ構成によるステレオ・インテグレートッドアンプです。そのため本機は、電源接続には、各チャンネルにそれぞれ1本、合計2本の電源ケーブルを必要としています。

### [ 梱包内容 ]

- 本体
- AC 電源コード 2本
- リモコン
- 取説
- 保証登録カード(はがき)



## ご使用上の諸注意と警告

---



本機を正しく安全にご使用いただくため、以下の点に十分ご注意ください。

- 本機のカバーを取り外さないでください。高電圧による感電の危険や火災の危険が生じる恐れがあります。
- 本機を、水のかかりやすい場所、湿気の多い場所で使用しないでください。また水がかかった時は、すぐに電源コードをコンセントから抜きご購入販売店にお知らせください。
- 本機の適正動作に関わる室温範囲は 0～35℃です。
- 本機は、暖炉やストーブなど熱源の近く、熱を発生する他の機器の付近、また、酸、または危険な物質の近くでは使用しないでください。
- 本機を、直射日光の当たる場所、あるいは低温になる場所で使用しないでください。
- 本機は天面と底面に冷却用の通気孔を設けています。使用中は高熱になりますので、通気孔を塞いだり、物を置いたりしないでください。
- 通気孔に物を入れたり、液体を入れたりしないでください。本機の損傷や火災の原因となることがあります。
- 本機には、ペット、子供、その他不適切な使用をすると損傷させる恐れがある人などを近づけないでください。
- 本機のお手入れには柔らかい布をご使用ください。水や溶剤、研磨剤、スプレークリーナー等は、筐体につけないでください。
- 本機は指定された電源以外では使用しないでください。
- 電源スイッチは切った後、すぐに入れたりしないでください。
- ケーブル接続を替えたりするときは一旦電源を切り、1 分間待ってください。
- 接続するスピーカーの負荷インピーダンスが本機の仕様と合致していることを確認してください。
- 接続するスピーカーケーブルの末端が本機のシャーシーに触れないようご注意ください。
- 接続コネクタは、アースや他の機器の筐体、その他の電位を持つ機器などとの間でショートをさせないでください。
- 本機は、音声増幅にのみ使用し、他の用途には使用しないでください。
- 適切に機能するオーディオソース「LINE 信号」のみを入力接続してください。その他の不適切な電位や電流は入れないでください。

### [ 接続の前に ]

- 接続は、本機および接続する機器の電源コードをすべて抜いてから始めてください。



### 付属電源コードの取扱いについて

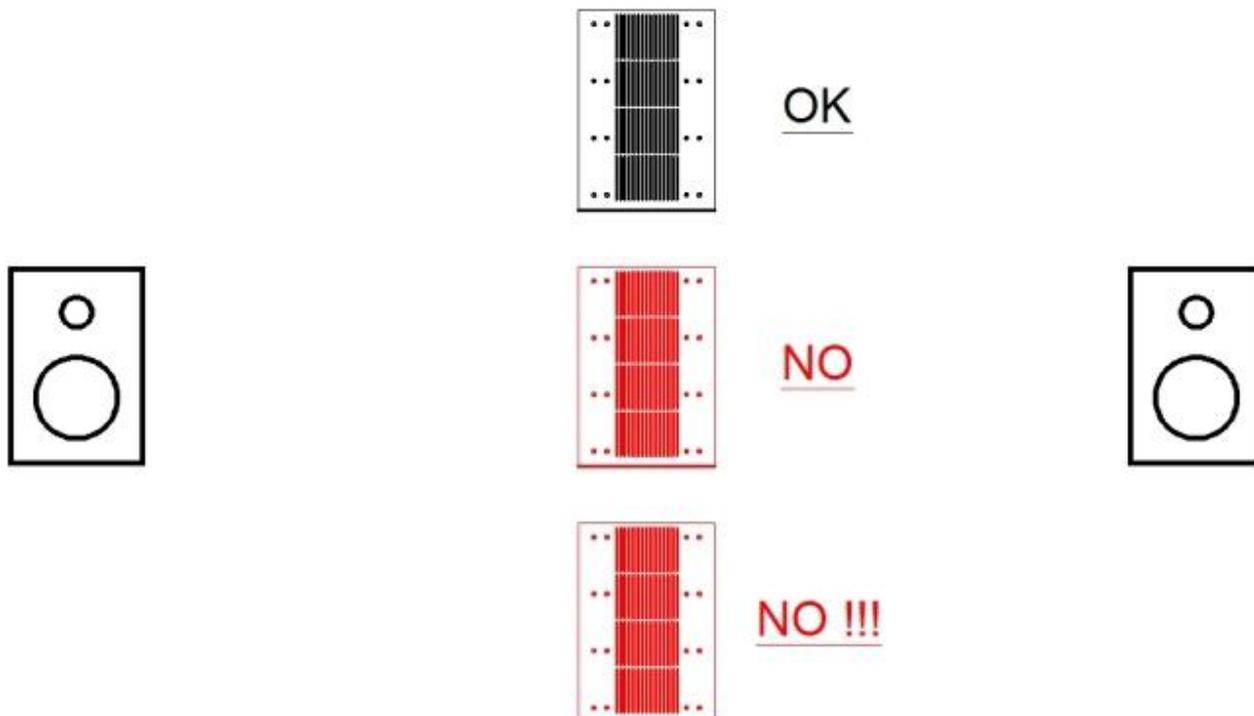
本機(電源ユニット)に付属している AC 電源コードは、本機専用のものです。他の機器にはご使用になれません。



## 設置について

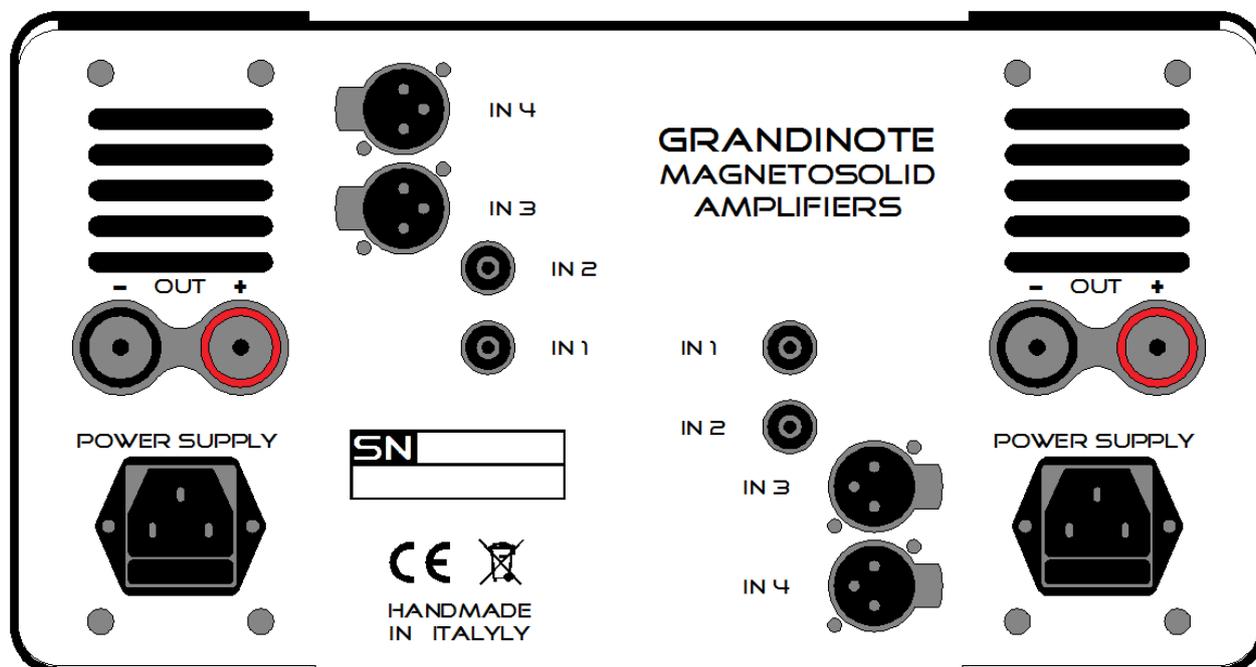
---

- オーバーヒート防止のため、本機の両側、ならびに上方には通気を確保する十分なスペースを設けてください。
- フロントパネルにはリモコンの受光部がありますので、ラック内に設置するような場合、フロントパネルが扉などで隠れてしまわないようご注意ください。リモコンは、赤外線ですから、ガラスなどは問題なく透過します。
- 音質上の観点から、本機はスピーカー間の後方に位置するよう置いてください。(下図参照)





## リアパネル/接続



※接続は、本機および接続する機器の電源をすべて切ってから始めてください。

※接続が完了してシステム全体に電源投入する際の順序は、ノイズ防止のため、[ソース機器]→[本機]としてください。切るときは逆順です。

### 1. 入力接続：

IN 1 / IN 2：各チャンネル アンバランス入力(RCA 端子; LINE レベル)

IN 3 / IN 4：各チャンネル バランス入力(XLR 端子; pin2=Hot, Pin3=Cold, Pin1=G; LINE レベル)

### 2. スピーカー接続：

OUT：各チャンネル スピーカー接続端子(バインディングポスト)

### 3. 電源接続：

POWER SUPPLY：IEC コネクター/ヒューズソケット(ヒューズ; 定格=タイムラグ 6.3A/250V・5φx 20mm ミゼット型)

各チャンネルそれぞれに AC 電源コードを繋ぎます。

※電源 ON の後、ウォームアップに必要な時間は最低約 20 分程度です。

## [ バーンインについて ]

一般的にオーディオ機器は配線材やコンデンサーなどの特性により、機器がベストコンディションに達するまで音楽再生による「バーンイン」運転が必要です。そのバーンイン時間には最低 100 時間程度を要します。



## フロントパネル



- ディスプレイ(パネル中央)：入力番号、ボリュームレベルなどをLED表示します
- 電源スイッチ(ディスプレイの下; 押しボタン)：  
電源のON/OFF  
※注意：本機は電源ON後アイドリング状態になるまで約90秒掛かります。  
その間ディスプレイはカウントダウン表示しています。  
電源スイッチは一度ONにしたらすぐに切ったりしないでください。また、切ってしまうとすぐには入れないでください。

ディスプレイの横には、デバイスを制御するための6つのボタンがあります。リモコンでも制御が可能です。

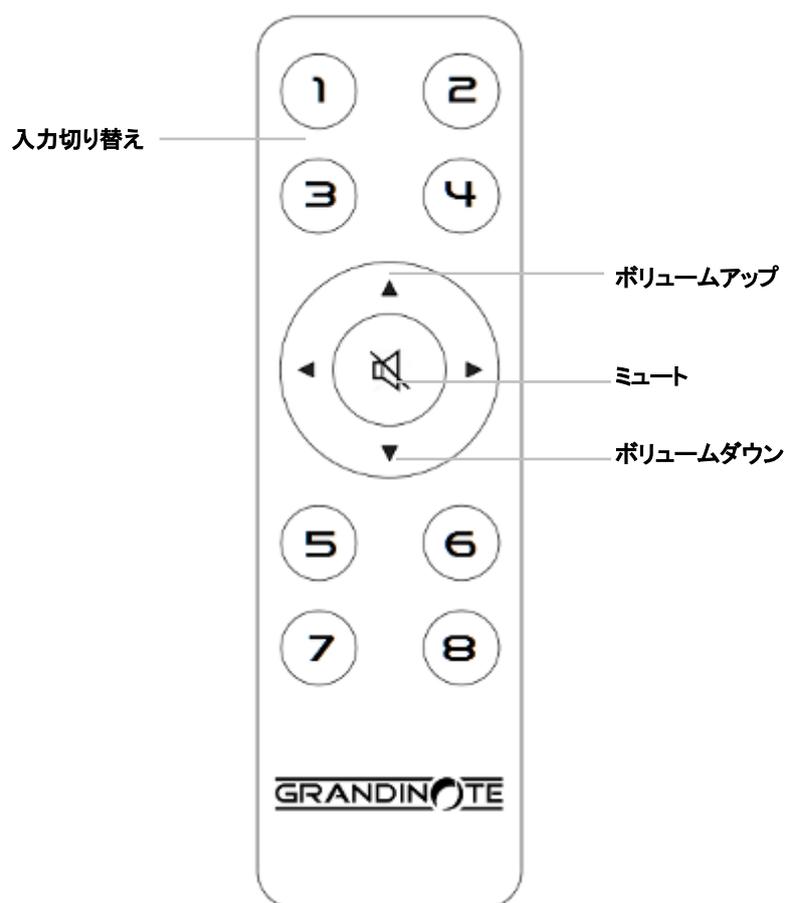
- VOL+ / MUTE / VOL- (右の3つのボタン)：  
上が音量アップ。下が音量ダウン  
真ん中がミュート
- IN+ / PROG / IN- (左の3つのボタン)：  
上と下は入力選択  
※注意：IN2からIN3に切り替えると、わずかな「グリッチ・ノイズ」が発生する可能性があります。  
これは、回路がアンバランスからバランスに代わる際の、音質に悪影響を及ぼすスイッチングノイズ対策などの余計な回路を設けていないためです。

真ん中は、ボリューム初期設定、ディスプレイ、入出力などの特殊設定を行なうプログラム用(後述「各種設定」を参照)。



# リモコン

---





## リモコン電池の着脱

---

本機のリモート・コントローラーは、CR2032(3V リチウムバッテリー)1 個を使用します。

電池の着脱は次の手順で行なってください。

- 背面のバッテリーホルダーのカバーを左に回して外します。
- バッテリーの+表示を上にしてホルダーに入れカバーを右向きに押し回し元通りに取り付けます。

### ご注意

※リモート・コントローラーによる操作ができなくなったら、上記の要領で電池を交換してください。

※長期間ご使用にならないときは、電池の液漏れを防止するため、電池を抜いてください。



### 安全に関するご注意



### 警告

リモコン用電池の取扱について

電池の使い方を間違えると、けがの原因となったり、発熱、破裂、液もれ、などを起こして故障の原因となったりしますので、下記の諸注意は厳守してください。

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
- 分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- +-を逆に入れてください。
- +-をショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 電池そのものや電池を入れたリモコンの置き場所は直射日光・高温・高湿の場所を避けてください。電池には化学物質が入っているので、暑さや湿気は禁物です。特に高温・高湿、直射日光のあたる場所での保管はさけましょう。寿命が短くなるばかりか、破裂・液漏れをおこす恐れがあります。
- 電池のもれ液が漏れて目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがなどのおそれがあるのできれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- 長期間ご使用にならない場合はリモコンから電池を外してください。また、使い切った電池は、すぐに機器から取りだしてください。
- 電池の使用推奨期限：リモコンの動きが悪くなったりした場合や、または、通常は半年から一年を目安として交換されるようお勧めします。



## プログラム(ファンクションのカスタマイズ)

---

本機は、必要に応じてファンクションをカスタマイズできるプログラム設定機能を設けています。

### ■プログラム・メニュー

- Input's Volume 1,2,3,4(各入力のボリュームレベルのプリセット) .....P11
- black display(ディスプレイ消灯).....P11
- Balance(バランス) .....P12
- Remote control off(リモコン OFF) .....P12
- Trasform the input one in line output(入力端子⇄出力端子 スワップ) .....P13
- Increase unbalanced rca inputs(バランス入力端子→アンバランス入力に変更)..... P14

### ■操作手順

プログラム設定はフロントパネル左側の3つのボタン[IN+ / PROG / IN-]を使って行ないます。

1. PROG ボタンを押すとプログラム設定機能が起動し、ディスプレイに最初のメニューが表示されます。
2. IN+ , IN- ボタンで設定値を選びます。
3. PROG を押すと確定し次の設定メニューに移ります。  
それぞれの設定メニューに対して IN+ , IN- ボタンで設定値を選びます。
4. 最終メニューの確定後、PROG を押すとプログラム設定を終了します。

※次ページ以降、各設定メニューの操作詳細をご案内します。



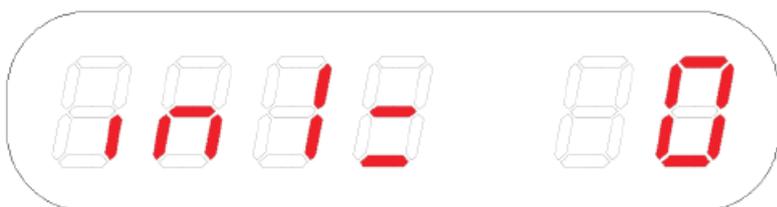
## ●Input's Volume 1,2,3,4(各入力のボリュームレベルのプリセット)

---

メニューの 4 番目までは、入力ごとに初期音量レベルをプリセットする機能です。  
例えば、入力 3 に音量レベル 20 をプリセットした場合、入力が 3 に切替わった時、本機はゆっくりと音量を上げてゆき 20 にセットします。 ※途中で任意のボタンを押せば音量の増加をストップさせることも可能です。

### ■操作方法

1. PROG ボタンを押します。ディスプレイに次のように設定メニューが表示されます。



2. IN+, IN- ボタンで 0 から Max までの間で設定値を選びます。

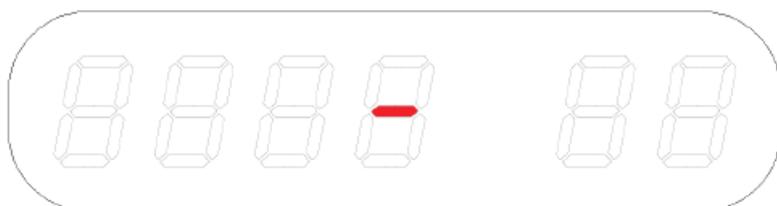
3. PROG を押すと設定値がプリセットされ、次の設定メニューに移りますので、それぞれ同様にプリセットします。  
IN2 ... IN3 ... IN4 ※設定を変える必要のない時は続けて PROG を押すと次の設定メニューに移ります。

IN4 の設定の後、PROG を押すと、次の black display 設定に移ります。

## ●black display(ディスプレイ消灯)

---

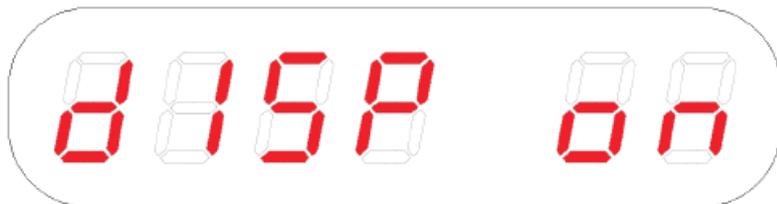
非操作時には、ディスプレイが消灯する機能です。



※この状態では、何かの操作をすると再びディスプレイが点灯し、しばらくすると消灯します。

### ■操作方法

1. PROG ボタンを押します。ディスプレイに「DISP」が表示されます。



2. IN +および IN-キーを押して"ON" / "OFF"を選びます。

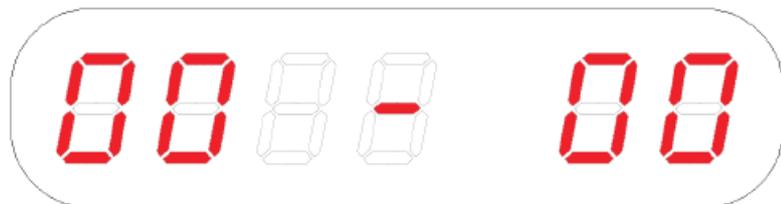
3. PROG キーを押すと設定が確定し次の Balance 設定に移ります。



## ●Balance(バランス)

---

L/Rのバランス調整です。



### ■操作方法

1. PROG ボタンを押します。ディスプレイに上図のような表示が現れます。
2. IN+ , IN- ボタンを押し必要に応じて L/R のバランスレベルを選びます。
3. PROG を押すと設定値がプリセットされ、次の設定メニューに移ります

## ●Remote control off(リモコン OFF)

---

リモコン操作を無効にする機能です。



### ■操作方法

1. PROG ボタンを押します。ディスプレイに上図のように「TELE on」の表示が現れます。
2. IN+ , IN- を押し、「OF(=OFF)」を選びます。(無効にしたくない時は、「ON」のままにしてください)
3. PROG を押すと設定値がプリセットされ、次の設定メニューに移ります。

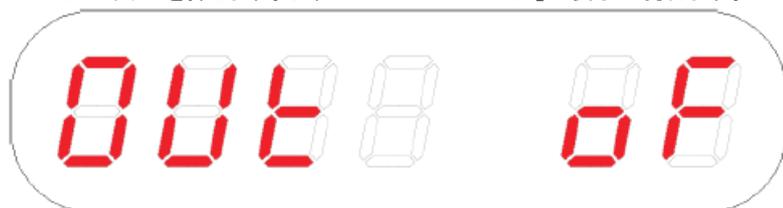


## ●Transform the input one in line output(入力端子⇄出力端子 スワップ)

IN1(RCA 入力端子)を、RCA ライン出力に変更する機能です。

### ■操作方法

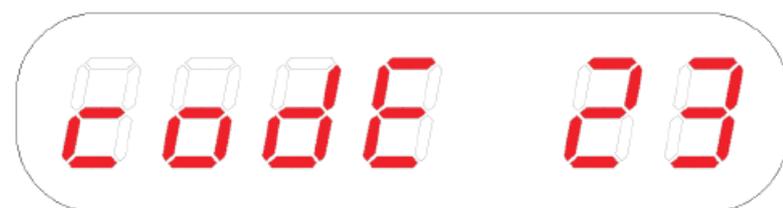
1. PROG ボタンを押します。ディスプレイに「OUT of」の表示が現れます。



2. IN+ , IN- を押すと、"ON" / "OFF"が切り替わります。  
「OUT on」に設定すると IN1(RCA 端子)は入力ではなく「ライン出力」として機能するようになります。

3. PROG を押すと設定値がプリセットされ、次の設定メニューに移ります。

この設定は特に注意が必要ですので、設定変更をしようとする度にセキュリティーコードが要求されます。  
code 23 のみが設定変更を許容し、他の code 番号では設定変更を受け付けません。



※本設定を行なうと、入力端子は IN2(RCA), IN3(XLR), IN4(XLR) の 3 系統となります。

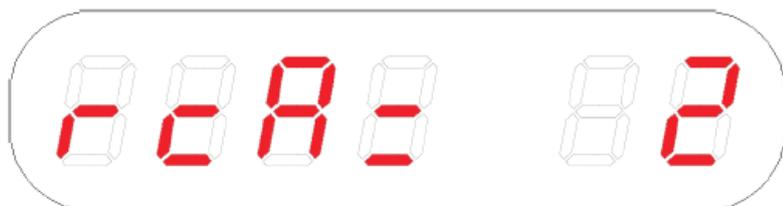


## ●Increase unbalanced rca inputs(バランス入力端子→アンバランス入力に変更)

XLR バランス入力端子を、RCA アンバランス入力端子として使用できるように変更する機能です。

### ■操作方法

1. PROG ボタンを押します。ディスプレイに「rcA = 2」の表示が現れます。



2. IN+ , IN- を押すと、右側の数字が 2 から 4 まで切り替わります。

2: RCA 入力は標準設定の 2 系統

3: 最初の XLR 入力がアンバランス仕様に変更設定され RCA 入力は全 3 系統となります。 ※

4: 二つ目の XLR 入力もアンバランス仕様に変更設定され RCA 入力は全 4 系統となります。 ※

※別途 RCA - XLR 変換アダプターをご用意し XLR 端子に接続する必要があります。

(アダプターの仕様は、RCA[+] → XLR 2 番、RCA[-] → XLR 3 番&1 番)

3. PROG を押すと確定しプログラム設定を終了します。

この設定は特に注意が必要ですので、設定変更をしようとする度にセキュリティーコードが要求されます。

code 23 のみが設定変更を許容し、他の code 番号では設定変更を受け付けません。





## 主な仕様

---

Grandinote "SHINAI" Integrated Amplifier

形式	フルデュアルモノ・インテグレートッド・アンプリファイアー
回路方式	Magnetosolid® Technology ピュア CLASS-A, ゼロフィードバック, フルデュアルモノ構成 w/完全独立パワーサプライ
出力パワー	37W / ch (4Ω/8Ω)
ダンピングファクター	150 以上
周波数特性	2Hz- 240kHz
入力	2 x RCA アンバランス 2 x XLR フルバランス
電源/消費電力	100Vac, 50/60Hz / 270W
外形寸法	318W x 196H x 473D mm
質量	40kg

※仕様は予告なく変更される場合があります。

## 保証

---

本機の保証はアクシス株式会社が行いません。

同梱の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後 10 日以内に下記宛にご返送ください。

折り返し、保証書をお送りいたします。

無償保証期間は 2 年間です。

保証についての詳細は、保証書をご覧ください。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27

アクシス株式会社

TEL 03-5410-0071 / FAX 03-5410-0622

AXiSS

輸入発売元: アクシス株式会社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27 TEL:03-5410-0071 / FAX:03-5410-0622  
E-Mail: [post@axiss.co.jp](mailto:post@axiss.co.jp) Web: [www.axiss.co.jp](http://www.axiss.co.jp)

©2019.03